



CA CRUZ ジェネラル・マネージャー 福田 綾香さん

## 人に教えることを学んだリーダー活動

「着物を着てると浮くんですよ。でもすぐ覚えてもらえます。“あ、着物の人だ”って」。マレーシアの首都であるクアラルンプールの西側に位置するペタリンジャヤ。そこで、飲食店の開業や起業のコンサルティング等を行う会社の代表を務めている福田綾香さんは、熊本YMCA学院国際ホテル科(現ビジネス総合学科ホテルコース)の卒業生です。

商業高校在学中に、東京ミッドタウンにある某5つ星ホテルを紹介した本に出会ったことから、一流ホテルでの就職へ憧れを抱き、2009年4月、熊本YMCA学院に入学。サービスの基本や実務、英語などを学びました。

学生時代は学業のかたわら、アルバイトに精を出す日々でした。飲食店での接客、結婚式場の配膳、そしてYMCAのリーダー活動。幼少期に自身もYMCAで水泳を教わっていたという福田さんは、好きな水泳を教えながら働けることに魅力を感じました。「まさか自分が教える側になるなんて。後にどうつながるか、わからないものですね」。キャンプリーダーとしても活動し、楽しさと同時に、子どもを預かる責任感も芽生えたそうです。「人材教育も今の仕事の一つですが、人に教えることを初めて学んだのはこの時かもしれません」。慕ってくれた子どもたちが忘れられないといい、マレーシアで働く彼女のそばには、指導していた子どもたちと写った当時の記念写真が飾られています。

## つながり、続ける。

### 掴み取った5つ星ホテルの採用通知

転機となったのは専門学校1年生の冬。福田さんは憧れのホテルにインターンシップを申し出ます。その前の夏、同ホテルでの宿泊研修の際、関係者に自作した名刺を渡していた彼女は、人事担当者に直談判。「名刺を渡すと、必ず名刺をいただける。いただいたら、それで終わりじゃなく、研修を受けたお礼や感想を送っていました」。90分の電話面接、東京での面接、総支配人との最終面接を経て、晴れてインターンシップに“合格”します。とはいえ、2カ月の実習期間中はもちろん無給で、交通費も宿泊費も自己負担。思い焦がれた5つ星ホテルで働きたい一心で、コツコツ貯めたアルバイト代を手にいざ、六本木へ。夢に向かうスタートラインでした。

しかし、就職活動では、新卒採用のなかった同ホテルへの就職は断念。福岡や東京の会社を受験します。いずれも結果は不採用でした。友人たちが採用通知を受け取る中、次第に焦りを感じ始めます。「当時はかなり落ち込みました。夢を追いかけてすぎて、追いかけてただけで終わっちゃうんじゃないかって」。そんなある日、福田さんの元に思わぬ知らせが届きます。憧れの5つ星ホテルからの採用通知でした。

### 運は自分で引き寄せる

福田さんは、同ホテルでのインターンシップ後も就職活動の様子を伝えるなど、担当者と連絡を取り続けていました。実習での働きを見てくれていたスタッフが、福田さんを推薦してくれたのだといいます。

「先に他社から合格をもらっていたら、違うところへ入社していたはず。今思えば、縁あって、他は不採用だったのかなって」。

5つ星ホテルの日本料理店で一流のサービスや料理、おもてなしの心を学んだ後、東京で飲食店の立ち上げに関わるなど経験を積んだ福田さん。ある時、知人からマレーシアで働いてみないかと持ちかけられます。ちょうど、将来を思い悩んでいた頃でした。「お給料をもらいながら、英語が身につけられるかもしれない」。そんな気持ちで、マレーシアへと渡ります。福田さん、23歳の時でした。その後、3年半で約10店舗の日本食レストランの立ち上げに関わり、次第に「海外で起業する人を支援したい」と考えるように。現在の会社の代表を任されたきっかけも知人の紹介でした。

「周囲からは、運がいいと言われてきました。たしかにそうだと思います。でも…」福田さんは続けます。「ただ一つ大切にしてきたのは、人とのつながり。そして冒険心を持って、楽観的に行動する、その信念が今につながっている。ラッキーは、偶然降ってきたわけではないかもしれません」。将来の夢は、自叙伝を出版すること。卒業生の活躍から目が離せません。



## Pickup

「母の日のプレゼント作ったよ」  
 体育英語幼児園  
 ラッコクラス



ブルーベリーを植樹  
 森林探検隊

玉入れがんばるぞ!  
 赤水保育園遠足





## I n f o r m a t i o n

行こう 見よう 深めよう

6月23日・24日

リオオリンピック競泳金メダリスト  
金藤理絵選手講演会・講習会学び  
×  
体験

リオオリンピックの競泳女子200m平泳ぎ金メダリスト金藤理絵さんによる講演会と講習会を実施します。テーマは「出会い、支え、学び合いが希望の力になる!」。ご自身の経験と実績に基づいた内容で、熊本に夢と希望を届けます。

## 講演会

回 6月23日(土) 16:00~17:30  
場 YMCA中央センター体育館(中央区新町)  
回 県内在住の方 回 300名  
回 中央センター Tel 096-353-6391



## 講習会

回 6月24日(日) ①9:30~10:30 ②11:00~12:00  
場 YMCAながみねファミリーセンタープール(東区長嶺南)  
回 ①小学1年~3年生 ②小学4年~高校生(25M完泳可能な方)  
回 各100名  
回 ながみねファミリーセンター Tel 096-385-0676



回 Web申込受付中。QRコードよりお申込みください。

6月12日・24日

## 子育て広場わいわい

親子  
×  
楽しむ

熊本YMCAの子育て広場わいわいは、どなたでもご参加いただける親子の広場です。今年度は、熊本市エンゼル基金の助成を受け開催します。皆様のご参加お待ちしております。

子育て広場わいわい  
IN 中央 みなみ ながみね むさしセンター

ウエルネス専門スタッフと保育者を狙っているYMCA学院児童福祉教育科の学生によるコラボプログラム。親子で楽しい時間を過ごしませんか?

回 6月12日(火) 10:30~11:15  
場 中央センター、みなみセンター、ながみねファミリーセンター、むさしセンター  
回 0歳~3歳児とその保護者 回 200円 回 各会場・各回10名  
回 各センターにお申込みください

—地域と共に70年—  
親子で楽しもう 歌あそびコンサート

オマチマンさんを迎えて、コンサートを開催します。  
熊本YMCA設立70周年記念事業の一環。子どもと過ごす時間をもっと楽しむヒントがたくさんあるコンサートです。



回 6月24日(日) 10:30~11:30  
場 みなみセンター(熊本市南区田迎)  
回 1人250円(0・1歳児は無料です) 回 50組  
回 Web申込受付中  
回 YMCA学院 Tel 096-353-6393



## オマチマンさん

保育者・幼児教育関係者向けセミナー・講演会、幼稚園児・保育園児・親子へのコンサート、国内・海外での保育セミナー・子どもキャンプのプロデュースなど、日本全国そして世界中を飛び回っている。

6月24日 Sunday

子どもたちと思い出と感動を共有  
キャンプリーダー募集野外  
×  
ボランティア

キャンプや野外活動にボランティアとして携わるキャンプリーダーを募集します。子どもたちと一緒にキャンプで楽しみ、思い出と感動を共有したい方、大歓迎です。

将来、子どもたちに関わるお仕事を目指す学生の皆さん、子ども大好き、キャンプ大好きという皆さん、お待ちしております。トレーニングを実施しますので、ぜひご参加ください。

## YMCAキャンプリーダートレーニング

回 6月24日(日) 9:00~16:00  
場 ながみねファミリーセンター  
回 高校生以上の男女(高校生・短大・専門学校・大学生・一般)  
※子どもたちと宿泊を伴うキャンプ、野外活動に参加できる人  
回 キャンプ説明会、YMCAキャンプとは、グループワーク、コミュニケーション、キャンプリーダーの役割・対象の理解 など  
回 無料 回 筆記用具・昼食・動きやすい格好  
回 6月20日(水)までにQRコードから登録してください。



※キャンプ参加の子どもたちを対象とした事前説明会を7月1日(日)に行います。  
回 YMCA阿蘇キャンプ Tel 0967-35-0124  
担当/山田真二(からしリーダー)



8月4日~8日

広島で平和について考える  
第40回国際青少年平和セミナーユース  
×  
平和

広島YMCA国際青少年平和セミナーは、広島をはじめ日本中の若者はもちろん、海外の若者も広島に集まり、英語での意見交換を行うなど、国内でできる国際交流です。同じ若者でも育った国や環境が違えば戦争・平和に関する考えが違います。このプログラムを通し、参加者は考え方の違いを受け止め、平和について自分たちにできることを見だし、平和の大切さを強く胸に刻みます。

回 8月4日(土)~8日(水)  
場 広島市・廿日市市  
回 青少年(高校生・専門学校生・短大生・大学生)  
回 被爆体験講話、平和ワークショップ、原爆資料館見学、原爆慰霊碑めぐり、原爆死没者慰霊祭(平和祈念式典)参列、宮島観光など  
回 90,000円(熊本~広島の交通費含む) ※熊本YMCA地球市民育成基金の助成申請により参加費補助が受けられます。



回 広島YMCA 回 6月19日(火)  
回 参加者には事前研修を実施します。日程は別途お知らせします。  
回 熊本YMCA Tel 096-353-6397



## R | E | P | O | R | T

[ 4月16日⇒ 5月5日 ]

## 防災

## まちあるきシリーズ 「もしもの時に in 上通」

4月22日(日)、上通センターで防災行事を開催しました。上通センター運営委員で防災士・熊本市応急手当指導員の的場幸雄さんを講師に「救急車が来るまでにできることは」をテーマに学びました。

実技ではAED(自動体外式除細動器)やAED練習機を見るのも初めての参加者もいて、自動音声による指示に驚きの声があがりました。また、心マッサージ中はスピードが求められることと感染予防を理由に、近年は人工呼吸を省略してよかったこと、怪

我の止血時は紐などで縛るのではなく直接圧迫がよいなど、救急法の変化を知ることができました。20年ほど前に救急法講習を受けたという参加者からは、「昔は人工呼吸と心マッサージを交互にやると習いました。最新の知識を習えたので良かったです。何度も習う必要性を感じました」と感想が聞かれました。今年度、上通センターでは定期的にこのような講座を行っていきます。

職員 大宅登貴子



## ユース

## とびら～心を開こう～ 西日本地区のリーダーが研修

5月3日(木)～5日(土)に、福岡県立英彦山青年の家で行われた「第23回西日本地区YMCAリーダー研修会」に参加しました。北九州・広島・福岡・熊本のYMCAから計18名のユースリーダーが集まり、「とびら～心を開こう～」をテーマに、子どもたちへの接し方を学びました。普段みなみセンターで子どもたちに体操を教えている私にとって、自分がどのようなリーダーになりたいかを考える3日間になりました。

1日目は、アイスブレイクから始まり、発達障がいのある子どもたちへの接し方や、子どもの発達に合

わせた運動の基礎について学びました。2日目は、「被災支援における子どもへの関わり」をテーマに基調講演が行われ、最終日は3日間で学んだこと、気づいたことをグループごとにまとめて発表しました。

私たちのグループは「寄り添う」ということについて考えました。子どもの心のとびらを開けたい時、その子の特性にあった寄り添い方を考えることが大切であると気づきました。子どもたちと一緒に楽しさや苦しみも感じる事ができるリーダーを目指していきます。

熊本市立大学2年 浅野花菜



写真右が浅野さん

## 熊本地震

## 新社会人が阿蘇で研修 復興支援ボランティア

4月16日(月)から20日(金)にかけて、東京海上日動火災保険株式会社の新入社員78名を対象とした研修がYMCA阿蘇キャンプをベースに行われました。熊本YMCAのコーディネートのもと、熊本地震から2年を迎えた熊本の地で、どのような社会課題があり、どのように解決に向けて行動しているのかを復興支援活動を通じて体感することがねらいです。

28名は益城町や御船町の仮設団地へ出向き、交流会や、清掃などを行い、残る50名は、阿蘇の農家を訪問しました。今も断層や土砂崩れ、人手不足な

どの影響を受け、通常の農業活動が難しい農家があります。参加者は利用できなくなったビニールハウスの撤去やイチゴプランターの清掃などの農業支援を行いました。

研修後は、「普段は野菜などを消費する立場だけれど提供する人たちの経験ができてよかったです」「日頃の仲間づくりの大切さを学びました」「阿蘇の素晴らしい景色が、忘れられません」などの声が寄せられました。

職員 山田真二



# 岡 総主事の タラン トン vol.48



## 祝福される生き方

「だれも、二人の主人に仕えることはできない。一方を憎んで他方を愛するか、一方に親しんで他方を軽んじるか、どちらかである。あなたがたは、神と富とに仕えることはできない。」(マタイによる福音書6章24節)

この言葉は、あらゆる富を持つことがいけないと言っているわけではありません。富が人生の目的となってしまうことがあってはならないと

言っています。富に支配された生き方は、神から祝福される生き方とは言えません。神に仕え、富を自分の管理のもとに置くことが大切であると聖書は語っています。

YMCAが事業を行うのは、富を得るためではありません。多くの人が集い、「みつかる。つながる。よくなっていく。」ポジティブネットのある豊かな世界を創るためです。「一年先を思う人は花を育てなさい。十年先を思う人は木を育てなさい。百年先を思う人は人を育てなさい」という言葉があります。YMCAはこれまで多くのボランティアと共に運動を行ってきました。私たちには、100年先を見つめ、全てのいのちのつながりが大切にされる社会を築けるよう、次代を担う人財(宝)を育成していく使命があります。一方で、そのためには持続可能な運営状況の

t a l a n t o n

もと、社会のニーズに対応した事業を行っていく必要があるのも事実です。これまでの伝統を継承していきつつ、時には、次代を切り開いていくための方向転換も必要になるでしょう。現在の事業を見つめ直し、大きな転換を行っていきたく考えています。

熊本地震から2年余りの月日が経ちました。今もなお不安な日を暮らす方々に寄り添い、共に泣きながら、いつかは、共に喜び合える日が来ることを信じ、当たり前の日々があることに感謝しながら1日1日を過ごしたいものです。

聖書の中には、私たちの生き方の指針が多く語られています。今年も、キリスト教理念研修入門講座が6月から11月まで6回、中央、みなみ、東部の3センターで開催されます。神様の豊かな祝福があることを祈ります。



## 子どもたちの食育サポート ～食の力で個が変わる～

熊本YMCAサッカー50周年を記念し、3月にシンポジウムが開催されました。長船なお美さんによる特別講演の内容を一部抜粋してご紹介します。



YMCAサッカーとの縁は10年前。息子が3歳の時からサッカー教室に通っています。チーム生にならないかと誘われた時、うちの子はまだ体が小さく、年上の体格のいい子と一緒に怪我をするのではないかと心配しました。そこで「強い体にすれば、安心で

きる」と考えたのがスポーツ栄養に興味を持ったきっかけです。

私が実践しているのは「まごわやさしい」。ま＝豆、ご＝ごま、わ＝わかめ・海藻類、や＝野菜、さ＝魚、し＝しいたけ、い＝いも類を毎日の食事に取り入れています。現代人は栄養不足のカロリー過多と言われています。スポーツ選手は日常のための栄養に併せて、スポーツをするための栄養が必要です。さらにジュニア、ユース世代は体の成長を支える栄養も大切です。我が家では食事を出す時に「まごわやさしい」だけね」と口に出します。すると子どもたちも「まごわやさしい」が入っているか確認し、自然と栄養を意識するようになるんです。全てを手作りにしなさいと言っているのではありません。さ＝魚が難しいと思ったら、竹輪や冷奴の上のかつおぶしも

「さ」に入れましょう。取り入れやすい部分からでいいです。

子どもたちには、ぜひ補食をとらせてあげてください。大会や練習の後の20～30分が疲労回復のゴールデンタイム。コンビニだったら赤飯のおにぎりがおすすです。豆も入っているし、胡麻も振ってある。温かいおにぎりでなくてもいいんです。冷ご飯がすごい力を発揮します。冷えたご飯に含まれるレジスタントスターチはでんぷんでありながら、食物繊維のような役割を果たして、腸を元気にしてくれます。

ジュニア、ユース世代のアスリートには成長障害、摂食障害などの心配もあります。「食べないといけない」、「食べられない」という強迫観念を与えないように楽しく食事をとることも大切です。心技体があってこそ、力を発揮できるのです。

これまでの熊本YMCAサッカー50年から次の世代の50年へ、サッカーをはじめとするスポーツを通して子どもたちの心と体をつくっていく。これが、私たち大人が子どもたちにしてあげられることではないでしょうか？ 今日からできること、ぜひ実践してみてください。

長船なお美さん

1987年より熊本でタレントとして活動。一般社団法人スポーツ栄養コンディショニング協会認定講師資格を取得し、講演活動や料理教室も行っている



## YMCA学院 グローバルコミュニケーション科を開設

日本で学ぶ留学生は増加の一途を辿っています。一方で国内の労働力人口は急速に減少しており、外国人材のニーズが高まっています。



このような状況に対応すべく、2018年4月より文化教養専門課程に留学生対象1年課程「グローバルコミュニケーション科」を設置しました。1年間で専門学校の授業を理解するために必要な日本語力を向上させ、日本語能力試験N2合格を目指します。同時にITやビジネスマナーの基礎を身に付けてYMCA学院の各学科への進学に備えます。

初年度は、中国、ベトナム、ネパール、スリランカ、フィリピンから9名の学生を迎えることとなりました。YMCA学院で学ぶ日本人の学生も、学内で留学生と日常的に交流することにより、多様性にふれ、国際性を身に付けることができます。日本人学生、留学生ともに、たくさんの交流を通して人間的に成長することを願っています。彼らをお見かけの際は、ぜひお声かけをお願いします。

職員 尾道一幸

## わたしと聖句

マタイによる福音書 6章28、30節

野の花がどのように育つのか注意して見なさい。…今日は生えていて、明日は炉に投げ込まれる野の草でさえ、神はこのように装ってくださる。まして、あなたがたにはなおさらのことではないか

### 野の花を見よ

この一節は、日々の必要を心配し、思い煩う人々に対してイエス様が語られたお言葉です。是非、六章全体をお読みになれることをお勧めします。

キリスト教会では、六月の第二日曜日を花の日としています。色とりどりの花が咲くこの季節、美しい花と共に御言葉も心に留めていただきたいと思います。

私は以前、この御言葉をより深く味わうた

日本イエス・キリスト教団熊本真愛教会  
金田洋介

めに、野の花を探したことがあります。その時、私は目を凝らさなければ見つかることができないような、小さくも美しい花を見つけました。私は草をかき分けなければ見つかることのできない、その花に感動を覚え、また、雑草に埋もれ、誰の目にも留まらないまま枯れ果ててしまうような小さい花も、神様は美しく咲かせてくださることを私は見たのです。イエス様の御言葉は真実です。

イエス様の時代に限らず、私たちの生きている現実も心配事、思い煩いが絶えません。担いきれない重荷、悩みや苦しみに直面します。その時私たちは、目に見えない神様より、目に見えるものに頼ることの方が確実で、安心できると思いがちです。しかし、この天地の全てをお造りになられた神様だけが、私たちのあらゆる種類の必要の一切を満たすことができるのです。

野の花を見る度に御言葉の約束を思い出し、神様からの平安をいただきますように。

発行所／(公財)熊本YMCA  
〒860-8739 熊本市中央区新町1-3-8  
TEL 096-353-6397(代)  
発行人／岡 成也 編集人／因幡 亮治  
定価60円 購読料は会費に含む

www.kumamoto-ymca.or.jp



### 熊本YMCAの使命

共に生きる社会 生涯学習の推進 ボランティア活動  
地球環境の保全 ウエルネス活動 平和な世界

### 2018年度基本聖句

コロサイの信徒への手紙 3章14節  
愛を身に着けなさい。  
愛は、すべてを完成させるきずなです。